

言葉だけ。ではなく、
実現する！

TOPICS

- ・ **今までに実現してきたこと**
- ・ **子育て・就職氷河期世代の議員として**
- ・ **これから実現を目指すこと**

代表 長岡京市議会議員

富田 達也

とみた たつや

1982年9月生まれ。京都学園幼稚園・長五小・長四中・向陽高校・龍谷大学法学部を卒業。卒業後は司法書士事務所にて正社員勤務。長岡京市を良くしたい一心で市議を目指し、2012年に退職。2013年市議選に初挑戦し1104票で初当選。2021年には1517票で3度目の当選。

建設水道常任委員会・委員。議会運営委員会・委員長。全国若手議員の会・監事。(公)乙訓青年会議所・元理事。

発行部数
92
万部達成

言葉だけ。ではなく、
実現する！



長岡京市民の生活のために 政策実現に全力を尽くします！

どちらの政治家を選びますか？



「選挙の時だけ耳当たりの良い言葉を並べるだけで結局何も変えられない」政治家を見て、私は政治家になろうと決めました。

「言うだけ」は誰でもできます。それだけでなく、選挙公約を議会で一言も言わない議員もいます。「身を切る改革」はほぼ議会で聞いていません。私は「選挙の時だけ」「言うだけ」の政治ではなく、しっかり実現する政治を目指して今後も取り組んで参ります。

実現した主な政策・施策

産後2週間・1か月健診助成

精神的不安定による産後うつを予防する点と、子育て世代への支援という点から、健診への助成が必要であり、平成30年から数度の提言を行ない、令和6年度から実現できました。



新生児聴覚健診助成

先天的に難聴のある子供は1～2%の割合で生まれ、難聴が早期に発見され適切な支援が行われた場合には、発達全般に好影響があるため、助成の提言をし、令和6年度から実現できました。



立地適正化計画の策定

コンパクトなまちづくりを継続するため、立地適正化計画の策定を提案しました。策定した結果として、済生会病院の建て替え時に国から多額の補助金を獲得できました。



自転車・歩行者の安全を守る

自転車や歩行者の安全を確保するため、建設水道常任委員会の副委員長時に自転車の条例づくりに議会での取り組み、令和3年3月に計画が策定され、現在自転車道の整備が進んでいます。



市民参画の促進（無作為抽出等）

市民が長岡京市に意見を伝えやすい取り組みを提言し続けています。無作為抽出による市民参画やデジタルプラットフォーム「Voice NAGAOKA-KYO」等、数多く実現することができました。



性の多様性社会の実現

性的少数者への差別解消の一助となるパートナーシップ宣誓制度やにじいろ企業登録制度等の導入を政策研究会分科会を通じて進め、実現できました。現在は拡充に取り組んでいます。



LINEの活用

市民の利便性向上のために、LINEを通じて粗大ごみや各種申請、道路の陥没や街灯の故障等を通報できるシステム、じゃぶじゃぶ池の申請、電子マネーの利用等について実現しました。



室内で遊べる環境づくり

夏の暑い日でも、冬の雪の日でも、雨の日でも子ども達がのびのび遊べる環境づくり、自習スペースの確保について提言し続け、図書館等で整備を進める答弁があり、一歩前進しました。



その他 生成AIの活用、産後ケア事業の拡充、骨髄移植後ワクチン接種助成、オープンデータ化、市民発のシティプロモーション など他多数



公LINE



長岡京市に必要な施策・政策とは？

長岡京市は大きな争点が無い地域です。言い換えれば、今までの市政運営が課題はあるものの上手く進んでいた証拠です。ただ、時代が人口減少社会に突入し、様々な課題が浮かび上がってきています。市民の皆さんの生活がより良い・より豊かになるよう、これからも皆さんの声をしっかり聴き、皆さんと一緒に施策や政策を考えていきます！



ビジョン ① 未来を育む子育て・学び改革！

- ・第2子以降の保育料完全無償化
- ・急な病気にも対応！「訪問型病児保育」「病児・病後児送迎サービス」
- ・行きたい保育所、子ども園に行ける！保育量の確保！
- ・室内遊びができる環境整備（図書館のリニューアル）
- ・不登校、ひきこもり対策（フリースクール支援・学びの多様化）
- ・すくすく教室（放課後子ども教室）の充実
- ・長期休暇中の放課後児童クラブへの給食（宅食サービス）の実施 など

ビジョン ② 挑戦を支える体制づくり

- ・ふるさと納税3.0（新しい地場産業の創出）で「稼ぐまち」へ
- ・公民連携による民間の活力を活かしたまちづくり
- ・創業支援センターの設置による創業支援
- ・新規就農支援、農業DX化支援の充実
- ・リカレント教育（学び・学び直し）の充実
- ・就職氷河期世代向けの相談窓口の設置
- ・市民が活躍する市民活動支援の充実 など



ビジョン ③ レジリエント&ウォーカブル都市へ

- ・水道管（基幹管路）の耐震化を促進
- ・阪急長岡天神駅周辺整備の促進（地区計画の策定等）
- ・全世代型防災教育の実施
- ・防災士を今の1.0倍に
- ・市民が使いやすい公共交通に（Maas等）
- ・ウォーカブルで歩きたくなるまちづくり
- ・立地適正化計画の拡充（駐車場適正配置による歩くまち） など

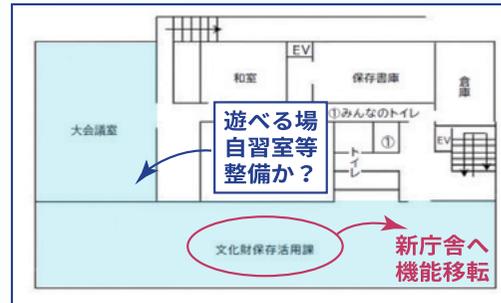


雨の日でも、夏の暑い日でも、冬の寒い日でも遊べる場の設置へ

Topical // 図書館の文化ゾーン // Agenda // で実現か？（再掲）

子ども達が、雨の日でも、夏の暑い日でも、冬の寒い日でも遊べる環境整備として、室内で遊べる場の整備を過去から提言をしてきました。長岡京市では大型公園の整備が進んでおり、外で遊ぶ場は充実してきています。しかし、屋内で遊べる場が少なく、また、乳幼児が対象の場しかないという現状です。

図書館3階見取り図



茨木市の「おにくる」



子ども達・保護者が「大満足」する施設を！

2023年11月26日にオープンした茨木市の「おにくる」は非常に人気があり、オープンから1年足らずで20万人の来場者を達成しました。保護者のニーズも非常に高く、今後図書館を改装する案を中心に動き出しそうです。今まで議会で提言し続けてきましたが、子ども達・保護者が大満足する施設の整備を今後も推進して参ります！

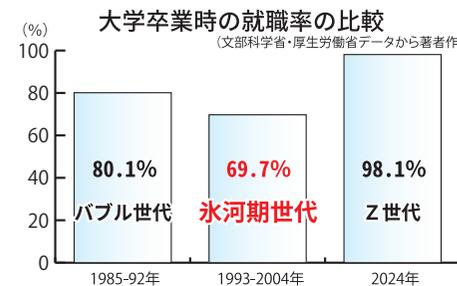
結論

室内遊び場・自習室を早急に整備を！

想い 子育て・就職氷河期世代の議員として

論点

世代間格差をどのように埋めるか



就職氷河期世代が制度の狭間で「一番損をしている世代」と言われています。就職率は69.7%と就職が非常に困難だったことが

分かります。最大の谷は2000年卒で、大卒就職率は55.8%・求人倍率0.59と史上最低でした。また、就職氷河期世代が不利だとされるのは、①新卒入口での決定的な差（派遣等に流れた）②昇給・昇格が無く、賃金が増えない③資産形成タイミングが悪く低貯蓄、低年金が確定的④人口ボリュームゆえの公的給付の競争、が主な理由です。リカレント（学び直し）教育や市内事業者との連携事業、または社会参加促進事業等、国に頼るのではなく、長岡京市としても積極的に世代間格差を無くす事業に取り組むべきです。子育て・就職氷河期世代の議員として、今後も世代間格差の是正に取り組んでいきたいと思ひます。

結論

国だけに頼らない政策が必要！

皆さんの声を届けて下さい！

日頃からお困りの事や、長岡京市について考えている事など、右記QRコードを読み込んでいただいて、ご要望やご意見を募集しております。お気軽にご連絡下さい！



お困り事があれば
富田まで
ご連絡下さい！



皆さんの声からさまざまな政策を考えています！